

平成 31 年度

事業計画書

第 45 期

一般社団法人 日本鉄源協会

平成 31 年度事業計画

平成 31 年度も内閣府から認定を受けた公益目的支出計画に沿って「調査・研究事業及び情報提供・情報交流事業」を中心とする継続事業を着実に実施するとともに、一般事業として会員向けの情報提供、交流事業などの充実を図る。

I. 継続事業（公益目的支出計画に基づく事業）

(1) 調査・研究事業

ア) 鉄源に関する国内外の需給動向調査（随時）

- ・鉄源に関する内外統計データの収集、整理。
- ・鉄鋼需要産業（各製造業・建設業など）に関する統計情報等の収集、整理。

イ) 鉄スクラップ市況モニター調査（毎週）

- ・国内の鉄スクラップの市況動向に関する情報をモニター協力会社から収集、整理。

ウ) 地域別、品種別鉄屑流通量調査（四半期毎）

- ・国内鉄鋼メーカー、鋳鍛鋼メーカー各事業所の協力を得て、鉄スクラップの品目毎の購入先地域を調査し、国内各地域間の鉄スクラップの流通量を取りまとめる。

エ) 全国鉄鋼蓄積量の推計

- ・国内に存在する使用中の鉄鋼製品を含んだ鋼製の構造物は将来鉄スクラップとして回収される可能性があることから、当協会ではそれらに含まれる鉄の総量推計を毎年実施している。本年度は、2018 年度末の全国鉄鋼蓄積量の推計を行う。

オ) 世界の鉄源需給動向調査

- ・国際商品化が進む鉄スクラップの今後の需給に係る諸問題を分析・検討する際の参考資料とするため、世界的な需給動向について包括的な調査を行う。平成 31 年度は本調査の一環として世界最大の鉄源輸出国である米国の冷鉄事情調査を平成 17 年度以来 14 年ぶりに実施し、シェールガス供給増による米国内エネルギー事情の変化の影響なども含め鉄源需給の実態確認と今後のデータ収集についての検討を行う。（別紙 1 参照）

カ) 次回加工スクラップ発生実態調査に向けての予備的検討

- ・5～10 年毎に実施して加工スクラップ発生実態調査について、前回調査（平成 26 年）で有効回答率、カバー率などが低かった業種への対応など、調査方法の改善に向けた検討を行う。

(2) 情報提供・情報交流事業

上記調査研究事業の成果を取り纏め会員に提供するとともに、要望に応じて広く社会に向けて情報を提供する。

ア) 「クオーターリー てつげん」の発行（四半期毎）

- ・直近の調査、研究事業成果の掲載。
- ・鉄源需給統計類の掲載。

イ)「鉄源年報」の発行

- ・国内外から収集した鉄源関連統計類等に分析等を加えて掲載。

ウ) ホームページによる情報提供

- ・鉄源需給基礎情報
- ・鉄スクラップ検収規格
- ・鉄スクラップ関連用語解説 など

エ) 鉄鋼関連報道機関との定期情報交流(四半期毎)

- ・情報発信の促進等を目的に業界紙記者を主な対象に「クォーターリー てつげん」掲載の調査、研究記事等の解説を行うとともに、意見交換を通じて関連業界等の動向把握等、今後の調査活動の一助とする。

(3) 鉄源の品質改善に関する事業

ア) 鉄スクラップ検収ハンドブックの発行

- ・鉄スクラップの品質に対する信頼性向上を目指して制定された「鉄スクラップ検収統一規格」について解説した「鉄スクラップ検収ハンドブック」を希望者に頒布する。

II. 一般事業

ア) 会員交流会の開催

- ・会員相互の親睦等を目的に、定時総会終了後に実施する。

イ) 日韓鉄スクラップ交流会

- ・平成20年度から行われている韓国鉄鋼協会との交流会の次回は日本開催の予定である。韓国鉄鋼協会からの開催提案があれば、両国の鉄鋼業および鉄スクラップを巡る現状報告および意見交換などを行う。

ウ) ホームページ会員コーナーでの情報提供

- ・鉄源需給に関する統計類、行政動向などの最新情報を提供する。

エ) その他

- ・当協会の目的達成に必要な関連事業を、予算の範囲内で随時実施する。

以上

(参考) 定款抜粋

第4条 この法人は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 鉄源に関する情報の収集及び提供
- (2) 鉄源に関する調査及び研究
- (3) 鉄源の需要及び供給の安定的な確保の推進
- (4) 鉄源に関する品質の改善及び処理技術の開発の促進
- (5) 前各号に掲げるもののほか、本法人の目的を達成するために必要な事業

「世界の鉄スクラップ需給動向調査」(案)

当協会では、海外における鉄源需給動向に関しても調査を行い、報告書として取りまとめている。

平成 31 年度においても、世界的な鉄スクラップの需給状況について包括的な調査を行うと同時に、鉄スクラップ市場に対する影響が大きいトルコ、中国、韓国、台湾、ASEAN 主要国、インド等の鉄スクラップの需要国・地域と米国、ロシア、日本、欧州等の鉄スクラップ供給国の動向を国・地域別に調査し、今後の日本及び海外の鉄スクラップ需給に係る諸問題を分析・検討する参考資料とする。

I. 調査内容と項目

1. 世界の粗鋼生産と鉄スクラップ需給動向

- (1) 各国別炉別粗鋼生産
- (2) 各国別鉄スクラップ輸出入および見掛消費量
- (3) 各国別粗鋼生産における鉄スクラップ使用原単位
- (4) 主要国の向け先別鉄スクラップ輸出量
- (5) 主要国の購入国別鉄スクラップ輸入量

2. 主要需要国の粗鋼生産と鉄スクラップ需給の現状と見通し

粗鋼生産と鉄スクラップ消費量推移および鉄スクラップ主要輸入先の変動を以下の国・地域について調査する。

- (1) トルコ
- (2) 中国
- (3) 韓国
- (4) 台湾
- (5) ASEAN 主要国
- (6) インド・バングラデシュ

3. 主要供給国の鉄スクラップ需給の現状と見通し

粗鋼生産と鉄スクラップ消費量推移および鉄スクラップ主要輸出先を以下の国・地域について調査する。

- (1) 米国
- (2) 日本
- (3) ロシア
- (4) 欧州

Ⅱ. 調査方法

文献、データ解析、国内関係先へのヒアリング調査および現地調査（米国）。

Ⅲ. 調査費用（特定調査事業資産より支出）

約 350 万円： ①調査委託費、②文献調査費、③文献資料費・報告書作成費
④現地調査費

Ⅳ. 調査時期

平成 31 年 6 月～平成 32 年 3 月

以 上